

河川事業

安全・安心な暮らしのために
継続的な治水対策と管理を行っています。

荒川の治水事業

流域の概要

荒川水系は、その源を山形県西置賜郡小国町の大朝日岳（標高1,870m）に発し、山間部を南西に流れ、越後平野の北側を横断して日本海に注ぎます。幹川流路延長73km、流域面積1,150km²の一級河川です。

流域の気象は、11月から3月頃までシベリアからの季節風の影響により、西高東低の冬型の気圧配置になることが多いため、降雪量が多く、特に中流部では過去に累計降雪量が15mを超えるなど、全国でも有数の多雪地帯です。

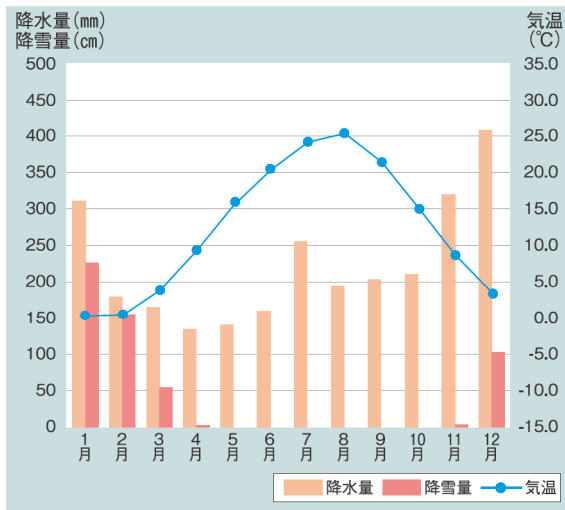
地点名	豊水流量 m ³ /s	平水流量 m ³ /s	低水流量 m ³ /s	濁水流量 m ³ /s	年平均流量 m ³ /s	年総量 ×10 ⁶ m ³	観測期間
葛籠山	145.09	81.77	47.22	18.12	115.46	3,644.21	S47~H30
上 関	128.96	72.92	41.95	20.24	106.25	3,350.20	S47~H30

直轄管理区間



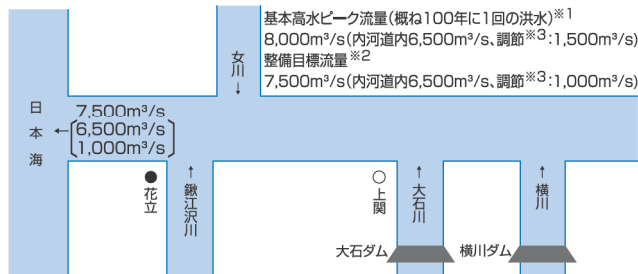
雨量・気温

■下関観測所の月平均降水量と降雪量、気温（10箇年平均）



出典:気象統計情報(平成22年~令和元年)

荒川計画高水流量図



^{*1}:荒川水系河川整備基本方針(H14.4.4策定)
^{*2}:荒川水系河川整備計画(H16.3.10策定)
^{*3}:洪水調節施設による調節

荒川の水利用

荒川は新潟、山形両県にまたがり、水の利用は主に水田のかんがい用水として利用されています。また、豊富な水量と急峻な地形を背景に、水力発電も行われています。荒川は社会的にも経済的にも重要な河川です。

区 間	指定区間外(国による管理区間)	
目 的	件 数	最大取水量計
工 業	0	—
上 水 道	1	0.247m ³ /sec
か ん が い	5	13.822m ³ /sec
発 電	2 (5)	28.00m ³ /sec (313.35m ³ /sec)
合 計	8	42.069m ³ /sec

※発電の()書きは指定区間分である。

荒川の水質

荒川は、地域による水質保全等の活動が評価され、平成20年度には環境省の「平成の名水100選」に選ばれました。

河川の水質を現すBODの値(数値が低いほどきれい)は環境基準値AAを満たしており、地域とともに「清流荒川」を守っていきます。

■荒川頭首工水質状況

